

子どもたちの ウェルビーイングのために

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的のいずれにおいても良好な(=満たされた)状態を指す言葉です。

地域で応援 部活動の新しいカタチ

これまで中学校の教職員が顧問となり、学校主体で行われてきた部活動を、地域全体で支える仕組みにしていくことを「部活動の地域移行(展開)」といいます。少子化の中で、子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化活動を継続できるようにするため、全国で進められている取り組みです。

問い合わせ先 生涯学習課社会教育班(☎85-8627)



なぜ地域移行(展開)をしていくの？

生徒数の減少に伴い、中学校での部活動の存続が難しくなっています。「中学に入っても、やりたい部活動がない」「人数が少なくて大会に出られない」といった状況が起きている中、学校の枠組みを超えた地域での取り組みが必要となっています。

メリット

- 子どもたちが、やりたい部活動に参加できる
- 専門的な指導が受けられる
- 教職員が授業の準備などにかけられる時間が
増える など



旭市が目指すカタチ

市では部活動地域移行推進協議会を設置し、休日の部活動の地域移行(展開)に向けて、学校や地域の声を聞きながら準備を進めています。また現在、モデル事業としてソフトテニス・陸上競技の2種目で活動を行っています。

これまで

学校部活動



- 教職員や部活動指導員が指導

令和8年9月～

あさひ地域クラブ (Asahi Community Club)



平日は学校部活動を継続

- 地域の指導者が指導(兼業を希望する教職員を含む)



インタビュー

モデル事業に参加している生徒や指導者に、活動について聞きました。

生徒代表

〈ソフトテニス〉



永井渚紗さん
(飯岡中・2年)

同じ目標を持った友達
との活動が楽しい

クラブに参加したことで、コーチの専門的な指導が受けられるようになり、技術が向上して自信が付きました。質問もしやすく、何より市内の他校の友達と交流しながら、一緒に刺激のある練習を楽しくできるのが良いところです。

指導者代表

〈陸上競技〉



榊宏海さん

子どもたちの頑張る
姿を応援したい

指導者や生徒の数が増えて、練習の幅が広がりました。生徒たちは環境にもすぐに慣れ、前向きに取り組む姿が見られます。子どもたちの継続的な活動を支えるために、地域・学校・保護者と連携しながら、尽力していきたいです。